

番号	15	名称	今荘
----	----	----	----

指定日	平成 15 年 6 月 9 日	所在地	神田神保町三丁目 15 番地 1
設計者	佐藤組	竣工	昭和 8 年 (1933) 頃



歴史・文化的特徴

昭和初期の洋風に追随していた市街地ビル建築に国風を表現する和洋折衷や「帝冠様式」が流行する風潮の中で、和風の様式化した飲食店のスタイルでもなく、木造の商家にも和洋折衷の独自のデザインを工夫するものが現れた。時代文化を伝える稀少な価値を持つ建物。

意匠・構造の特徴

震災復興期の木造 3 階建の建物で、看板建築の一種ともいえるが、独自の和洋折衷デザイン、特に、震災復興の区画整理で初めてできた角地の隅切りを活かしたファサードが印象的。

玄関は唐破風、最上部は神社のような千鳥破風・幕股を持つ和風フレームがあり、その下に和とも洋とも取れる大きな丸窓がある。

周辺景観との関係

専修大学前交差点南側の集英社ビルの近くにある、うなぎ専門料理店。

独特なファサードが周囲に異彩を放ち、本の街神田にポストモダン的な文脈を刻み込んでいる。